

東日本大震災 対策本部情報

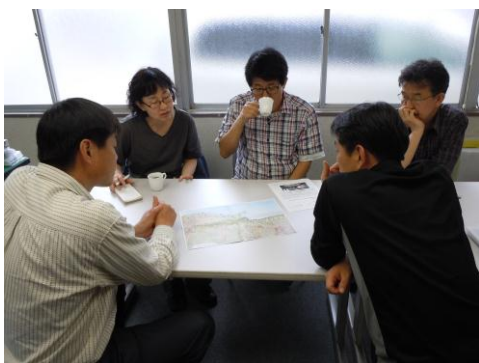
87号

2011/05/16

韓国の仲間たち被災地を視察し

仙台地本の組合員とボランティア活動を担う！

5月13～14日、韓国公共連盟、ICLSの仲間たち四人は、仙台地本を訪れ被災地を視察しました。14日には、東松島市でJR東労組組合員と共にボランティア活動で汗を流しました。



名取、亶理地区、石巻、女川地区、視察し津波被害の大きさを実感しました。韓国の仲間は「先進国の日本でなぜすぐに復旧しないのか疑問で

した。しかし、被災地が広大なこと町全体が破壊されてしまった現地を見て理解しました。『がんばって!』と言うだけでは足りない。私たちにできることがあればこれからも支援していきたい」と熱いおもいを語ってくれました。

ボランティア活動は、定年退職したお年寄り夫婦世帯の津波で民家の庭にたまったヘドロをスコップでヘドロを土嚢袋に入れ、収集場所まで運びました。

帰りには「自分たちで家の中にたまった泥をきれいにするのは大変でした。今日は大変ありがとうございました」と感謝の言葉を頂き、韓国の仲間は「苦しみを一緒に乗り越えていきたい」と気遣っていました。

仙台の組合員たちが、地域の復興と発展を目指してボランティア活動をしていることに感銘を受けました。

案内していただいた仙台地本氏家委員長ありがとうございました。

JR 東労組

